

## 船舶事故調査報告書

平成21年10月8日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 長 後 藤 昇 弘  
委員 楠 木 行 雄  
委員 横 山 鐵 男（部会長）  
委員 山 本 哲 也  
委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成20年10月12日13時25分ごろから14時15分ごろの間と考えられる。）
発生場所	香川県直島町葛島灯台から真方位059°620m付近 （概位 北緯34°28.3′ 東経133°57.8′）
事故調査の経過	平成20年11月26日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	水上オートバイ <small>エフエックス クルーザー エスエイチディ</small> F X cruiser SHD、0.2トン 280-42526香川、株式会社瀬戸内マリン 2.89m(Lr)×1.10m×0.46m、FRP ガソリン機関、154kW、平成20年2月（製造年月）
乗組員等に関する情報	船長 男性 71歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 平成4年3月25日 免許証交付日 平成19年3月27日 （平成24年8月19日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、平成20年10月12日13時ごろ、他の水上オートバイ3隻とともに香川県高松市のマリーナを出港し、香川県直島南岸沖に到着後、直島を反時計回りに沿岸に沿って遊走することとし、本船が先頭で遊走中、船長が頭部を船体に打ちつけ、海中に投げ出された。 船長は、意識を失い、側頭部及び鼻から出血して海上に浮かんでいたが、追走していた他の水上オートバイに救助された。病院に搬送されたが、のち岡山県玉野市内の病院で脳挫傷により死亡した。 他の水上オートバイの船長2人は、北進する他船を見た後、大きな波に遭遇し、停船している本船と落水していた船長を発見した。事故発生場所付近では、13時25分ごろと14時15分ごろに他船が航行していた。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北北東、風速 約3m/s、視界 良好

	海象：海上 平穩	
その他の事項	船長の健康状態は良好であった。なお、船長は救命胴衣を着用していた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 不明 船長の死亡原因は、脳挫傷であった。 船長は、頭部を船体に打ち付けたため、脳挫傷に至った可能性があると考えられるが、頭部を船体に打ち付けた状況については明らかにすることができなかった。
原因	本事故は、本船が直島西岸沖を遊走中、大きな波に遭遇した際に船長が頭部を船体に打ち付けたため、発生した可能性があると考えられる。	